

公 表

第54回技能五輪全国大会「配管」職種 競技実施要領

1. 一般的注意事項

- (1) 集合時間 競技下見日：午前8時30分（時間厳守のこと）。
競 技 日：午前8時00分（ " ）。
- (2) 競技中は、競技委員、運営委員及び競技補佐員の指示に従うこと。
- (3) 競技課題図等は、競技日に配布されたものを使用すること。
- (4) 持参工具の工具展開は、選手のみとし、運搬等補助が必要な場合は、競技委員、競技補佐員に申し出ること。ただし、競技終了後の片付け等は、この限りではない。
- (5) 工具箱は、指示された所定の工具保管場所に置くこと。
- (6) 競技終了後の工具等の片付けは、選手全員の競技及び公開水圧審査が終了してから行うこと（別途指示がある）。
- (7) 付き添い者は、競技下見日及び競技日は、所定の場所で見学し、競技中選手に話しかけたり、指示をしないこと。これらの行為を行った場合には、不正行為とみなし、失格または特別減点とする。また、競技に関する質問等は、選手本人のみとする。
- (8) 携帯電話の競技エリアへの持込は、不可とする。
- (9) 競技時間中の水分補給で水筒、ペットボトル等の持ち込みは、認める（蓋のついたもの）。
- (10) 昼食（弁当）が支給される（競技下見日、競技日）。
- (11) 競技会場内は禁煙とする（所定の場所で喫煙する）。

2. 支給材料・課題・持参工具等について

- (1) 競技下見日に配布される材料表をもとに、各自支給材料の数量・不具合について確認すること。
寸法取り等作業とみなされる行為は禁止する。競技開始後の異議は、認めない。
- (2) 競技日に配布された課題等は、終日競技エリアから持出禁止とし、休憩時間は裏面にする。
- (3) 「持参工具等一覧表」にない工具は、使用を認めない。使用した場合は、減点とする。また、治具的要素のある工具を使用した場合も、減点とする（不明な場合は、競技下見日に競技委員に相談のこと）。
「持参工具等一覧表」の工具類で不要と思われるものは持ち込まなくてもよい。

- (4) 競技開始後は、工具等の貸し借りは認めない。
- (5) 合板（原寸図作成用）は、競技日に支給する。
- (6) 競技で使用する水は、競技下見日に用意し、競技日は補給のみとすること（会場にバケツの準備がある）。

3. 競技について

- (1) 競技場所は、競技下見日に抽選で決定する。
- (2) 競技は、競技時間割に基づき実施する。
- (3) 競技開始時間の2分前には、各自の競技場所にて待機すること。
- (4) 競技の開始及び終了は、ホイッスルと場内アナウンスにて行う。
- (5) 競技時間の基準時計は、競技日に指示する。
- (6) 標準時間 : 6時間40分（16：25）
- (7) 打切時間 : 7時間（16：45）
- (8) 昼食時間 : 1時間（11：30～12：30）
- (9) 休憩時間 : 午後1回15分（14：00～14：15）
- (10) 競技中の退席（トイレ等）は、手を上げて申告する。
ただし、このロスした時間は、競技時間に含むものとする。
- (11) 製作の間違い等により材料の再支給及び補充を受ける場合は、手を上げて競技委員に申告する。但し、減点の対象となる。
- (12) 競技時間中に作業パネルに記した「墨」「チョーク」等について消去の必要はない。
- (13) 完成の意思表示は、自ら水圧試験を行い完成の確認をしてから、必ず手を上げて競技委員又は競技補佐員に申告する。
申告後の水圧テスト器は、作品に接続したままとしておくこと（但し、水圧を下げて、水は抜かないこと）。
- (14) 完成の申告をした者は、直ちに競技場所の外（見学者エリア）で待機する。
- (15) 全選手競技終了後、公開水圧審査を実施する。各自競技場所に戻り、選手立会いのもと競技委員が水圧審査を実施する。
水圧審査は、水圧が0.3MPaまで昇圧したらストレート止水栓を閉じ、引き続き水圧0.75MPaまで昇圧したら漏水の有無を2分間確認する（審査に係る作業はすべて競技委員・競技補佐員が行う）。

4. 安全事項

- (1) 競技下見日・競技日は、安全を最優先して作業をすること。
- (2) 競技下見日・競技日は、作業服を着用し、後片付け終了までゼッケンナンバーをつけること（競技下見日に持ち帰らないこと）。
- (3) 複数のトーチランプの同時使用は認めない。

- (4) ガスカートリッジの取り扱いには十分注意し、トーチランプは耐火板の上に置くこと。
- (5) トーチランプは、安全のためガス用に限定する。
- (6) 作業の中断・終了時には火気の始末等に特に注意すること。

5. 採点要領

完成作品の採点にあたっては、次に示す採点要領を適用する。

(1) 採点項目と配点

※ 加点方式とする。

採 点 項 目	配点 (点)
作品採点 (寸法精度・出来ばえ)	80
水 圧 審 査 採 点	10
作 業 時 間 採 点	5
作 業 態 度 採 点	5
合 計	100

(2) 減点 (②～⑤は、競技委員全員の合議による)

- ① 競技時間内における材料の再支給及び補充は、1 個につき 10 点の減点とする。
- ② 製作等の大きな誤りは、その状況により減点とする。
- ③ 競技中の作業態度は、安全作業の状況により減点とする。
- ④ 他人を負傷させた場合は、その状況により失格とする。
- ⑤ 本人が負傷した場合は、その状況により減点、または失格とする。

(3) 未完成

- ① 打切時間内で完成しない作品は未完成とする。
- ② 未完成作品は採点対象としない。

6. 競技時間割

10月22日(土)

時刻 (時：分～時：分)	所要時間 (時. 分)	摘 要
8：00～ 8：10	0.10	選手集合、受付
8：10～ 8：30	0.20	競技課題配布、支給材料確認、競技準備
8：30～11：30	3.00	競 技
11：30～12：30	1.00	昼休み
12：30～14：00	1.30	競 技
14：00～14：15	0.15	休 憩
14：15～16：25	2.10	競 技（標準時間 6. 40）
16：25～16：45	0.20	競 技（打切時間 7. 00）
16：45～17：00	0.15	工具、材料等の整理及び水圧審査準備
17：00～（予定）		公開水圧審査